

南「今度こそ床で金メダル」 世界体操へ試技公開

体操の世界選手権（19日開幕、ジャカルタ）に出場する男子日本代表選手が9日、東京都北区の味の素ナショナルトレーニングセンターで試技会を公開した。床運動と跳馬に出場する南一輝（エムススポーツ、仙台大出）は「床では金メダル獲得が目標。跳馬は出るからには決勝に進出しメダルを狙いたい」と意気込みを語った。

南は試技会の床運動でDスコア（演技価値点）5・8の高いレベルでの演技構成で臨み、14・333点を記録。跳馬も14点台にまとめた。痛めていた両脚のアキレス腱（けん）の状態は改善しつつあり、「やりたことはできている。あとはけがをせずに本番に臨むだけ」と力を込めた。

世界選手権には2021年と23年の2度出場し、種目別の床運動でいずれも銀メダルに輝いている。それでも「悔しきしかない。今度こそ金を取りたい」と抱



試技会で演技する南

負を述べた。その鍵となるのが「攻めの姿勢」と言う。これまでの決勝では技の難度を落とすなどして確実性を重視していた。今回は予選よりも難度を上げた演技構成で臨むつもりだ。「今のコンディションなら攻めていける。着地をしっかりと止めて自分の演技が出せれば結果は付いてくる」と自信を見せた。（中村紳哉）